

第7回
電波有効利用成長戦略
懇談会資料

FUJITSU

shaping tomorrow with you

資料 7 - 5

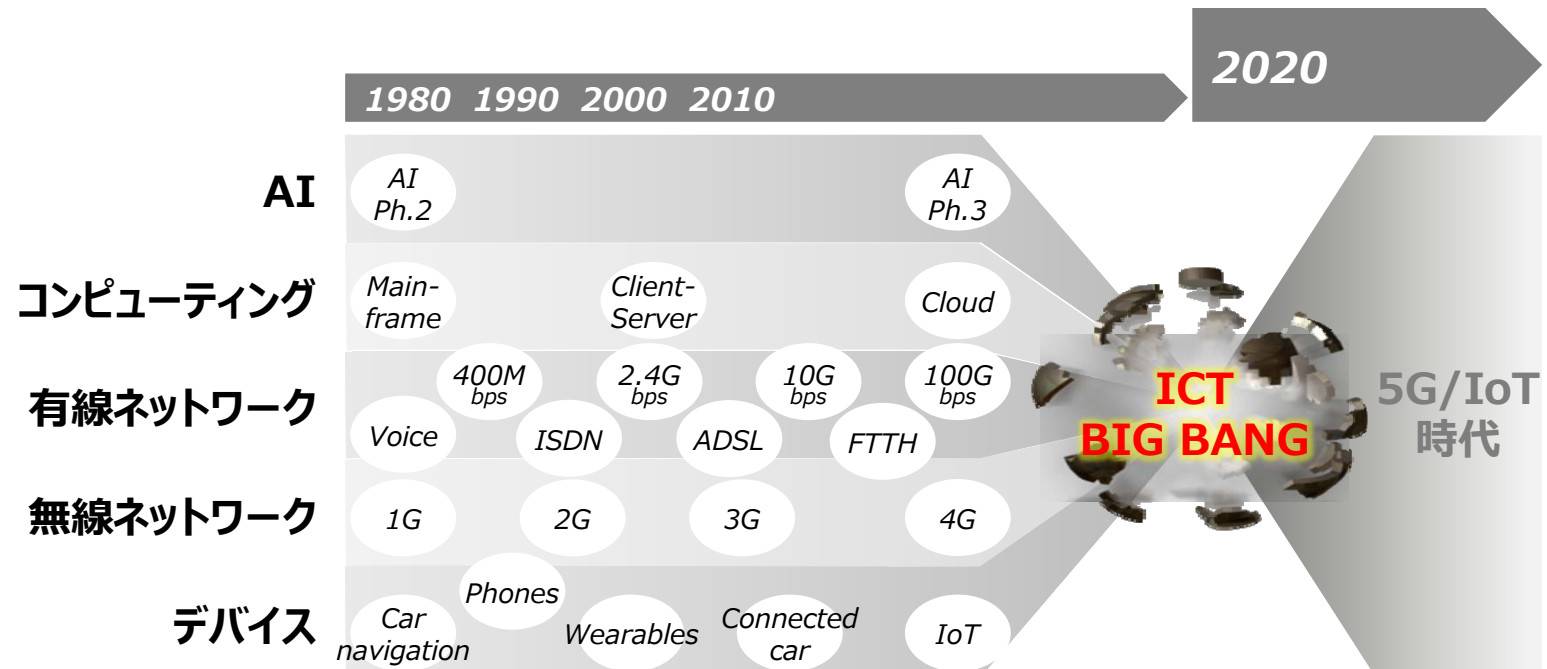
「今後の電波有効利用方策」 に関する考え方について

2018年3月9日
富士通株式会社

情報を高度に活用する5G時代の幕開け

デジタル技術の進展

- ネットワーク・情報技術の継続的な進化
- 5G導入時期に個々の技術が結集・共鳴
- ディスラプティブなデジタルサービス創出の期待



5G/IoTで広がる新たな世界

より安全・豊かで、持続可能な社会の実現へ

サービス変革

【期待】

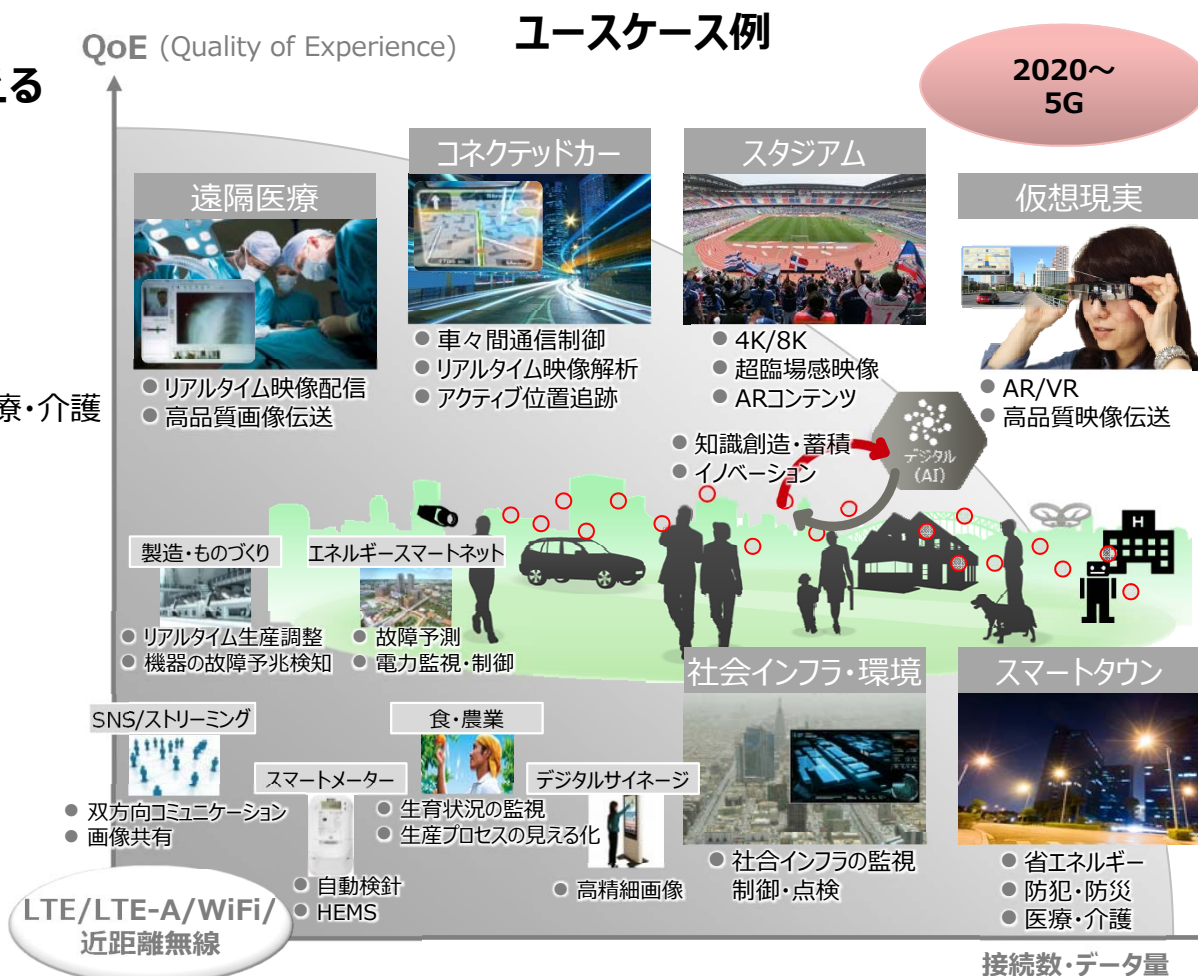
■ 地球環境を守り、高齢化社会を支える

- 行くことを助けてくれる
 - 自動運転、介護ロボット、拡張現実(AR)
- 行きたいところに来てくれる
 - 遠隔医療、スタジアム、仮想現実(VR)
- 暮らしをキメ細やかに見守ってくれる
 - インフラ監視、省エネルギー、防犯・防災、医療・介護

【課題】

■ ヒトとマシンが共存する社会ルール

- プライバシー保護
 - 急増するセンサーとデータ
- セキュリティ
 - 悪意ある攻撃からの防御とセモノの判別
 - マシンの社会的責任是非 (コネクテッドカー、ドローン、AI+ロボット等)
- デジタルデバイド
 - 一人ひとりのデジタルリテラシー

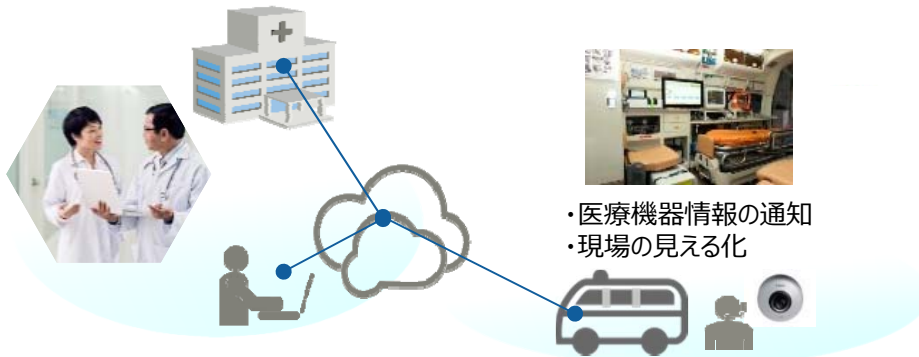


Use case#1 : スマートな社会

救急医療

■ICT連携による医療リソースの最大活用

- 大規模災害時に多数の傷病者が発生した際の治療優先度の決定
- 救急車で取得した傷病者データを医療機関・スタッフと確実に共有



エンターテイメント

■クルマがスマートデバイスとなり、移動空間が臨場感のあるアトラクションに



コラボレーション

■車内が臨場感のある会議室に

- 移動時間の削減、対応迅速化
- 移動エネルギーの削減



Use case#2 : 安心・安全な暮らし

安心な街づくり

- 映像解析技術を活用した迷子検知サービス



生活支援

- 翻訳システムによる外国人との自然なコミュニケーション



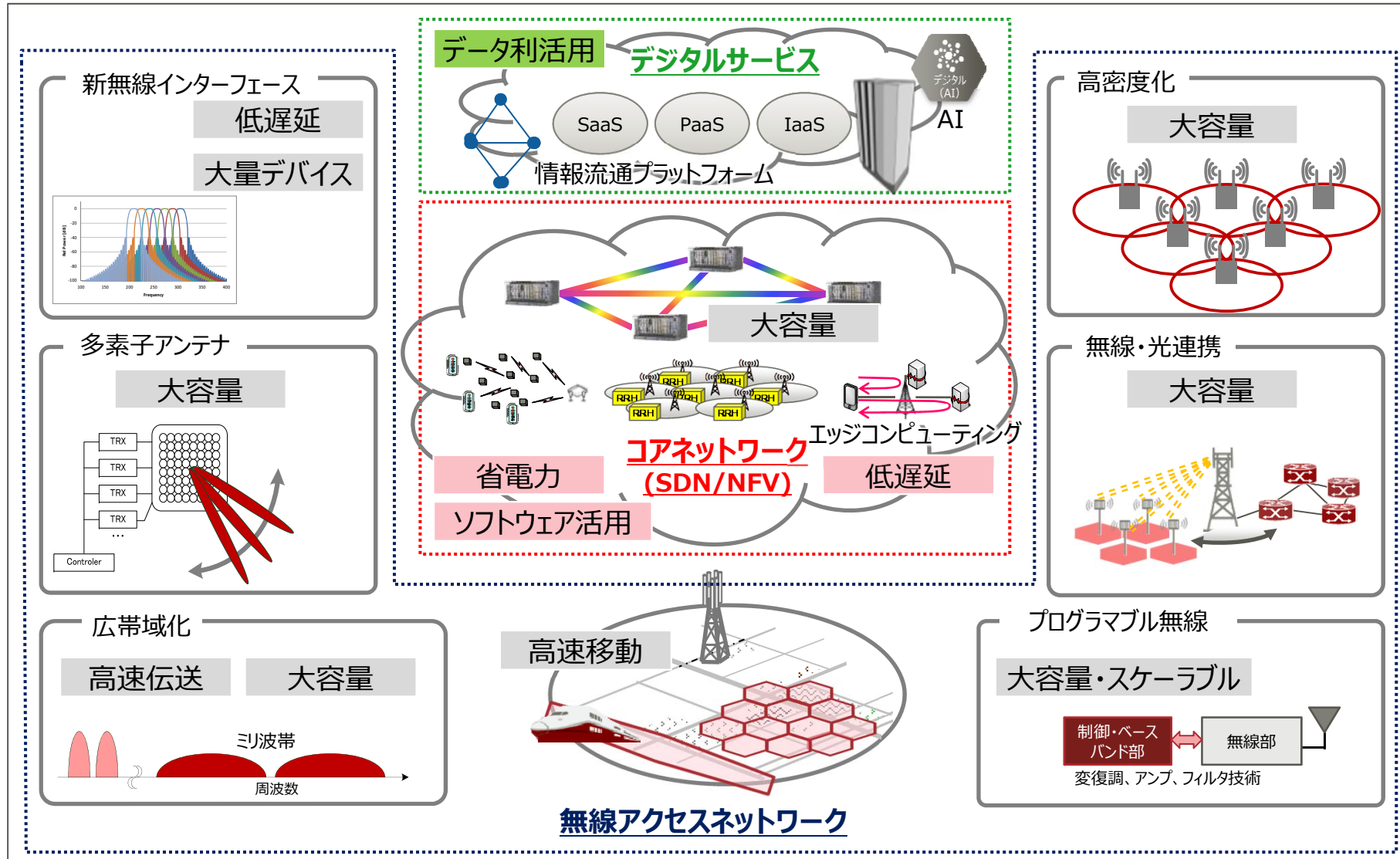
高齢ドライバーの運転支援

- 高齢者住宅向けの見守りサービスの適用技術を車載カメラ等へ展開



5Gネットワークインフラ

国民一人ひとりが最先端技術の恩恵を体感できる環境を



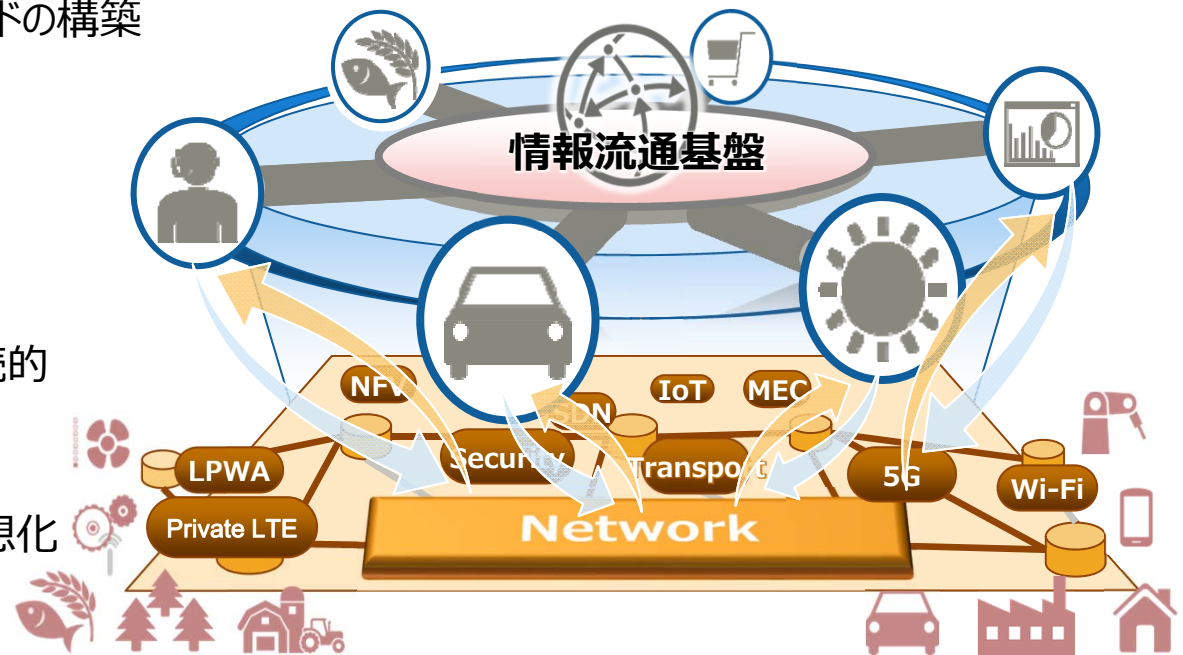
デジタルトランスフォーメーションをドライブ

情報流通基盤

- 業界・企業間を跨る、安心・安全なデータ流通促進
⇒ 例) メタデータの標準化等のコンセンサス
- 社会実装に向けて、ネットワークと分散コンピューティングに関する要求が高度化・多様化
⇒ 例) テストベッドの構築

ネットワークインフラ

- “安心・安全”を支える堅牢性と持続的
発展可能な柔軟性
⇒ ネットワーク運用の自律化
⇒ ソフトウェアによるネットワーク仮想化
⇒ 通信性能の向上と
多様な無線技術の活用



今後の電波有効利用方策に関する考え方

社会的課題の解決に向け、ICT活用によるサービス創出を期待

一人ひとりが利用シーンに応じて、サービスを使うことができるスマート社会実現に向けたグランドデザインを提示した上で、ICT産業の各分野が継続的、自立的な営みを継続可能とする周波数再編や電波利用料による環境整備を進めて頂くことが重要であると考えます。

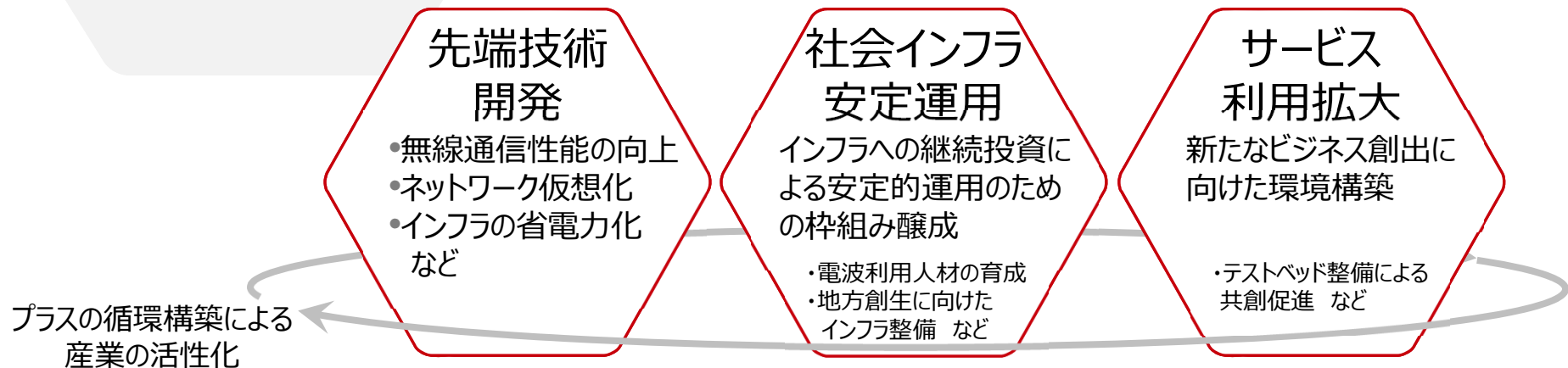
周波数の再編

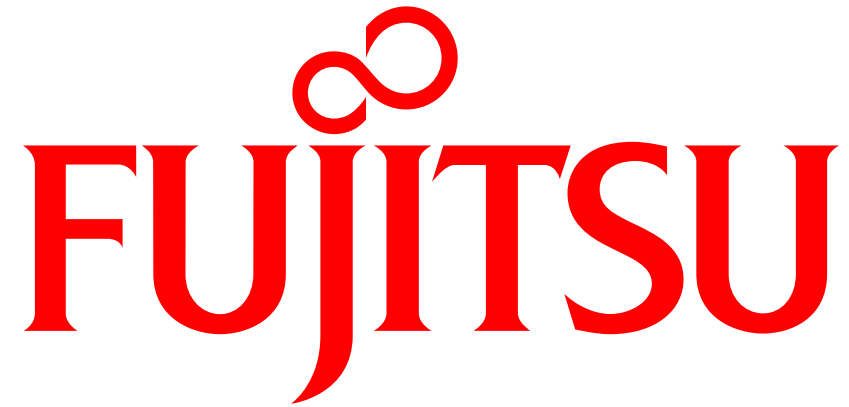
新たに電波利用を考える企業・団体による周波数利用の要求への迅速な対応

⇒ 投機的な活動は抑制しつつ、周波数割当て時に機動性と透明性が両立可能な方策の検討が必要

電波利用料の有効活用

国民が最先端技術開発のメリットを享受可能なプラスの循環の構築





shaping tomorrow with you